

夏季セミナー2018

言語・文学・社会

—国際日本研究の試み—

2018年7月11日（水）～13日（金）10:10～18:00

会場：東京外国語大学府中キャンパス
留学生日本語教育センター

「サマースクール研究発表会」

7月11日(水)14:20-18:00

7月12日(木)14:20-17:30

- ◆JR中央線「武蔵境」駅～西武多摩川線「多磨」駅下車徒歩5分
- ◆京王電鉄「飛田給」駅北口～多磨駅京王バス10分

東京外国語大学国際日本研究センターは、世界各国から日本語・日本研究の第一線で活躍されている研究者を講師にお招きし、世界における国際日本研究の現状を学内で直接学べる機会を提供しています。第7回となる今回も講師とともに海外の大学院生を招聘し、研究発表を通して国内外の院生同士が交流できる場を設けます。言語・文化・歴史・文学・教育・社会などの分野において各国・各地域で進展している日本研究の現在に触れてみませんか。奮ってご参加ください。

Program

7月	11日(水)	12日(木)	13日(金)
10:10 10:55	鈴木智美 東京外国語大学	逆井聡人 東京外国語大学	オリガ・ホメンコ氏 国際日本研究センター特任研究員・ キエフモヒーラアカデミー国立大学 (ウクライナ)
10:55 11:40	峰岸真琴 東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所	梁青氏 国際日本研究センター特任研究員・ 厦門大学(中国)	スタニスワフ・マイヤー氏 ヤギェロン大学(ポーランド)
昼食休憩			
12:40 13:25	孫建軍氏 北京大学(中国)	金鍾徳氏 韓国外国語大学(韓国)	朱秋而氏 国立台湾大学(台湾)
13:25 14:10	ナジェージダ・ウェインベルグ氏 イルクーツク国立総合大学 (ロシア)	オクサーナ・アサドチフ氏 キエフ国立大学(ウクライナ)	リムベンチュー氏 シンガポール大学(シンガポール)
休憩			
14:20 15:50 16:00 18:00	大学院生の研究発表会	大学院生の研究発表会 (17:30終了予定)	総評 サマースクール修了式

(大学院生懇親会)

夏季セミナー
サマースクール

サマースクール2018 7月11日(水)ー7月12日(木) 留学生日本語教育センター2階 213、214、215、216、217室

7月11日(水)院生発表会

	213室	214室	216室	215室
司会	(日本語学) 司会:ファム ティタインタオ	(対照言語学) 司会:多田 奈保美(タダ ナオミ)	(文学) 司会:王 野(オウ ノ)	(文学、社会) 司会:メフモノフ ファルフジョン
14:20	銭 夢潔(セン メンジェ)	胡 良娜(コ リョウナ)	楊 柳岸(ヨウ リュウガン)	ザグルスカ アネタ
14:50	東京外国語大学	東京外国語大学	東京外国語大学	ヤギェロン大学
14:50	日本語複合動詞「〜む」について一考察一言語習得の視点から	日本人中国語学習者による“了”の誤用に関する分析	水上勉文学における「中国」の意味——「虎丘雲巖寺」を例に	原爆文学について
14:50	江 錠琦(コウ ギョクキ)	張 文(チョウ ブン)	黄 瑋綺(コウ イキ)	徐 明煥(ソ ミョンファン)
15:20	台湾・開南大学	東京外国語大学	東京外国語大学	東京外国語大学
15:20	痛みのオノマトペについての考察——「ビリビリ」、「ジーンズ」、「チクチク」を対象に	中国語における行為者が一人称の受動文について——日本語との対照の視点から	芥川龍之介の「支那趣味」中国の道教仙人を題材とした作品を中心に	戦争と愛国の論理(矢内原忠雄と塚本虎二を中心に)
15:20	張 芹輔(チョウ キンホウ)	タティット プスパニン グガナ	高 程東(コウ テイトウ)	李 金鳳(リ キンホウ)
15:50	国立台湾大学	東京外国語大学	台湾・東海大学	北京外国語大学
15:50	日本語の飲食用語における外来語要素について	インドネシア語母語話者による感謝表現への人間関係の影響——日本語母語話者との対照	芥川龍之介『歯車』における自我性	近代化における日本専業主婦化の社会メカニズムについて
休 憩				
司会	(日本語学) 司会:ローレンス ニューベリーペイトン	(対照言語学) 司会:車 魯明(シャ ロメイ)	(文学) 司会:内川 隆文(ウチカワ タカフミ)	(社会) 司会:佐々木 瑛代(ササキ アキヨ)
16:00	王 棟(オウトウ)	張 婷(チョウ テイ)	木下 佳奈(キノシタ カナ)	王 妙珊(ウオン ミュウシェンシャネル)
16:30	東京外国語大学	東京外国語大学	東京外国語大学	シンガポール国立大学
16:30	日本語運用修飾語成分の新しい捉え方について —形容詞が連用修飾語となる場合を例に—	中国語と日本語における当為判断のモダリティに関する研究	陳映真と黄春明が描いた庶民の台湾社会における苦闘	日本における市民社会及び外国人労働者—文献検討
16:30	南 紅花(ナン コウカ)	石田 智裕(イシダ トモヒロ)	吉良 佳奈江(キラ カナエ)	ノヴィコヴァ エヴゲーニヤ
17:00	東京外国語大学	東京外国語大学	東京外国語大学	キエフ国立大学
17:00	動詞「いう」における内容語的な用法から機能語的な用法への移行	中国語助動詞“会”の誤用から見る、日本語・中国語の時間経過認識	全成太「国境を超えること」にみられる日本人像	日本におけるうつ病患者に対するスティグマ
17:00	婦 翔(キ ショウ)	張 正(チョウ セイ)	金 雪梅(キン セツバイ)	サブリーナ ハジミ プトリ
17:30	東京外国語大学	東京外国語大学	東京外国語大学	東京外国語大学
17:30	比較構文に使われる程度副詞の研究——大規模コーパスによる事実調査を中心に——	なぜ日本語母語話者は中国語の結果複合動詞を間違えるのか—学習者コーパスに基づく考察—	尹東柱の詩を通してみる「故郷意識」	「EPAIに基づくインドネシア人看護師国家試験合格者が日本に定住しないのはなぜか」
17:30	泉 大輔(イズミ ダイスケ)	王 清汝(オウ セイジョ)		
18:00	東京外国語大学	東京外国語大学		
18:00	「感」の形式的特徴と意味・用法に関する考察	日本語の「V-テイル」と中国語の対応性に関する調査		

7月12日(木)院生発表会

	213室	214室	216室	217室
司会	(日本語学) 司会:銭 夢潔(セン メンジェ)	(日本語教育) 司会:タティット プスパニン グガナ	(文学、歴史) 司会:吉良 佳奈江(キラ カナエ)	(社会言語学) 司会:南 紅花(ナン コウカ)
14:20	車 魯明(シャ ロメイ)	多田 奈保美(タダ ナオミ)	徐 榮駿(ソ ヨンジュン)	メフモノフ ファルフジョン
14:50	東京外国語大学	東京外国語大学	韓国外国語大学	東京外国語大学
14:50	無生物主語他動詞文が許容される条件をめぐって —事実上人の行為の表現になっているもの—	ヒンディー語を母語とする日本語学習者における音声認知と文字表記の関連——習熟度別学習者の調査を通して——	『今昔物語集』14巻26話に表れた性談論:同質と違いとしての性談論	ウズベク人日本語学習者の「ほめ」への応答とその評価
14:50	呉 伯韜(ゴ ハクトウ)	高岡 咲希(タカオカ サキ)	王 野(オウ ノ)	王 麗(オウ レイ)
15:20	台湾・政治大学	明治大学	東京外国語大学	明治大学
15:20	接尾辞「-カ」についての考察	上下の概念メタファーが日本語学習者の慣用句の意味推測に与える影響——中国語母語話者と韓国語母語話者を対象に——	古代日本の太陽信仰についての一考察——「太陽の洞窟」の伝承を中心に——	「ほめ」に対する返答スタイルの日中対照研究——日本語母語話者と中国語母語話者の大学生のデータを通して——(予備調査の結果及び分析)
15:20	ファム ティタインタオ	トカレフ アレックス		尹 恵美(ユン ヘミ)
15:50	東京外国語大学	筑波大学		韓国・中央大学
15:50	ベトナム語からみた日本語複合動詞——「完了・完遂」のアスペクト的意味を中心に——	日本語教育における簡約化されたテキスト読解へのリーディング・動機付けやその理解しやすさについて——やさしい日本語ニュースサービス「NEWSWEB EASY」を用いたL2 読者を対象とする実証的研究——		依頼行動と断り行動の相手配慮的側面についての相関関係——韓国人・中国人・日本人のアンケート調査を基に——
休 憩				
司会	(言語学、翻訳) 司会:泉 大輔(イズミ ダイスケ)	(日本語教育) 司会:胡 良娜(コ リョウナ)	(歴史、社会) 司会:金 雪梅(キン セツバイ)	(社会言語学) 司会:張 正(チョウ セイ)
16:00	ローレンス ニューベリーペイトン	高 ミンソン(ゴ ミンソン)	内川 隆文(ウチカワ タカフミ)	馬 雯雯(マ ウェンウェン)
16:30	東京外国語大学	明治大学	東京外国語大学	筑波大学
16:30	日本語と英語における「結果構文」の類型論的考察	韓国語を母語とする日本語学習者の同形語と和語動詞の連語形式の習得に関するパイロット調査	戦前日本における無産政党の電力政策	「女性」の使用実態についての一考察——コーパスのコロケーション情報から——
16:30	スワット ルンアシー	全 アンナ(ジョン アンナ)	韓 昇憲(ハン スンヒ)	佐々木 瑛代(ササキ アキヨ)
17:00	タマサート大学	韓国外国語大学	東京外国語大学	国際基督教大学
17:00	翻訳小説における人称代名詞の翻訳ストラテジーの考察	韓国人日本語学習者対象の語彙教育における文化理解との相関性に関する一考察	戦後日本人の朝鮮認識——日本朝鮮研究所の活動を中心に——	スピーチスタイルと敬語表現に対する日本語学習者の意識調査——待遇コミュニケーションのための意識化と気づき学習とは——
17:00	仲村 伶(ナカムラ レン)	クレショヴァ ユリア	セーリフ タティヤーナ	胡南夫(コ ナンフ)
17:30	明治大学	東京外国語大学	イルクーツク国立総合大学	北京外国語大学
17:30	近代翻訳小説における無情物主語の翻訳	ロシア語母語話者によるポジティブ・ポラリティネスとしてのアイロニーの使用	ロシア人ガイドによる日本人向け観光案内の特徴——イルクーツク市内観光とバイカル湖博物館の案内を基に——	日中翻訳実践における訳文分析の指標を探る——過程構成論の視点から